

Title	フィリピン関係雑誌・会報/機関誌記事目録 : 1986年1~6月
Author(s)	津田, 守
Citation	大阪外国語大学学報. 1986, 72(3), p. 85-115
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/81130
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

フィリピン関係雑誌・会報／機関誌記事目録
：1986年1～6月

津 田 守

Bibliography of Japanese Periodical Articles
on the Philippines : January ~ June, 1986

Mamoru TSUDA

I. は じ め に

昨今わが国においてもフィリピンに対する関心が高まってきた。それは1984年8月のベニグノ・アキノ元上院議員暗殺事件以来、特に顕著となった。テレビ・新聞・雑誌などがしばしばフィリピンを取り上げ、学術研究論文・書籍も多数出版されている。

86年2月7日の大統領選挙、同月22～25日の「2月革命」、20年間に及んだ「マルコス王朝」の崩壊とその余震、コラソン・アキノ政権の誕生とその展開、日本政府への対比円借款供与とそれをめぐる「マルコス疑惑」問題の追及などの一連の動向は、ついに日本のマスメディアに「フィリピン・フィーバー」を沸騰させたのである。2月中だけでも、延べ200人を超える記者・ジャーナリスト・レポーター・カメラマンらの日本人報道関係者がフィリピンに滞在し、取材していたと言われている。日刊の新聞社や通信社は特ダネ合戦を演じ、テレビ・ラジオ放送局は（特に深夜まで）特番を組んだ。また、Kioskに並ぶような一般向の雑誌から専門雑誌に至るまで、過熱なほどにフィリピン特集を行った。しかしながら、かような情報の集中的過多現象（このこと自体極めて日本的な様相ではあるが）はやはり一種のフィーバーであり、4月下旬には既に冷却し始めていた。^(注)ただし、マスコミ関係に限っても既存の『朝日』、『読売』、『時事』、『共同』各支局に加えて、4月以降『毎日』、『赤旗』、NHK、毎日テレビ（TBS系）、日本電波ニュースの各社が常駐特派員を送り込むかマニラ支局新設をしていることは特筆に値する。

今後日本においてフィリピン研究、および国民的レベルでの対フィリピン理解を一層深めていくことが必要となるであろう。そのための基礎的資料のリストアップを目的として、雑誌、会報および機関誌など逐次刊行物を採録した本目録が作成された。

国立国会図書館は『雑誌記事索引』を年4回発行している。しかし、記事の採録は同図書館が受

け入れた『採録対象誌』に限られている。従って、例えば『朝日ジャーナル』、『エコノミスト』、『世界週報』以外の一般週刊誌や、いわゆるミニメディアは含まれていない。しかもそこでは、記事が政治・行政、経済・経営、社会・労働、歴史・地理等々独自の分類体系によって配列されており、フィリピンに関するものが一カ所にまとまっていない。また、「原則として2ページ以下の記事」は除外されている。

その様な不徹底さと不都合を克服せんがため本目録においては、編者が入手し得たすべての雑誌、および会報・機関誌の類を対象とした。時間の制約上、今回は86年1月から6月までの半年間に発行された出版物のみに限った。また、図書類と日刊・週刊などの新聞は割愛した。対象誌のジャンルは多岐にわたるが、主なものは総記・マスコミ・一般週刊誌・総合誌・婦人誌・時事・社会問題・社会科学・国会・軍事・政党機関誌・政論・海外情報・外交・(国際)経済・貿易・労働・さらにはフィリピン問題ミニコミ通信などである。全部で136種類であった(追補を含む)。それらの中からフィリピンについて言及した記事、論文、評論、グラビアなど576点をくまなく採録した。なお、上述の「フィーバー現象」とは無縁なものも多数あることをここに確認しておきたい。

未入手ないしは遺漏のデータがあるため網羅的な目録作成は至難であった。リストアップをさらに完全にしていくことが望まれる。そのために必要な情報をお持ちの方からは、ご教示をいただければ幸いである。なお雑誌の探索と入手、文献カードの作成の過程において本学教官・図書館員の諸氏、インドネシア・フィリピン語学科学生諸君、特に研究生今村俊介君の協力を得た。ここに記して深く感謝の意を表したい。

(注) フィーバーぶりを証明する資料として、月2回発行の『ダカーボ』誌が毎号まとめている「週刊誌の目次頻度」順位表(総頁数付)が参考となろう。対象となっているのは、朝日、毎日、読売、サンケイ、文春、現代、新潮、ポスト、宝石の一般週刊誌9誌である。「フィリピン情勢」は2月中旬から最上位に登場し、9誌の2月13日～4月4日号各6冊では圧倒的に第一位(合計頻度が38、総頁数は205)を記録した。また、4月3日号以降4月27日号までの各4冊においてもやはり「マルコス疑惑」が第1位(合計頻度が19、総頁数は83)を保持していた。それが5月に入ってから第十位内にすら入っていないのである。次頁に2月13日から4月27日号までの順位表(『ダカーボ』3月20号、4月5日号、20日号、5月5日号、20日号より)を再録する。

II. 目録の見方

各エントリーは、著者名、論題、雑誌・会報／機関誌名、発行月日次、頁を以下の通りに記載した。全体を著者姓の読みの五十音順に配列した。同一著者によるものは発行月日順とし、さらに例えば月刊と週刊とを同月に執筆の場合は月刊を先にした。

(1) 著者名

著者は、その記事に表示された形で記載した。外国人名は、仮名でファミリーネームを先に表

一般週刊誌9誌中の目次頻度順位表

(朝日、毎日、読売、サンケイ、文春、現代、新潮、ポスト、宝石)

2月13日～3月2日号、各2冊			2月27日～3月16日号、各2冊			3月20日～4月4日号、各2冊		
順位	目次	頻度 総頁	順位	目次	頻度 総頁	順位	目次	頻度 総頁
①	フィリピン情勢	9 44	①	フィリピン情勢	16 106	①	フィリピン情勢	13 55
②	中野富士見中生徒自殺	7 28	②	ロス疑惑	7 32	②	マネー情報	9 39
③	ピンク情報	7 25	③	ピンク情報	7 27	③	ピンク情報	7 27
④	大学合格者速報	6 36	④	大学合格者速報	6 65	④	大学合格者速報	6 78
⑤	竹下 登	5 21	⑤	田中角栄	6 29	⑤	三好京三	6 24
⑥	平和相銀	5 19	⑥	平和相銀	5 21	⑥	プロ野球キャンプ情報	6 22
⑥	国鉄九州総局長辞任	5 19	⑦	マネー情報	5 20	⑦	ロス疑惑	4 19
⑧	岡本綾子	5 18	⑧	池田裕子	5 18	⑧	レーガン大統領・ 二女の自伝小説	3 12
⑨	ロス疑惑	4 17	⑨	王・巨人軍	4 17	⑧	美智子妃	3 12
⑩	王・巨人軍	4 15	⑩	円 高	4 16	⑩	塩路一郎	3 11

4月3日～18日号、各2冊

順位	目次	頻度 総頁
①	マルコス疑惑	13 58
②	プロ野球開幕直前情報	9 34
③	過激派ゲリラ	7 30
④	マネー情報	7 27
⑤	大学合格者情報	6 141
⑥	ピンク情報	6 24
⑦	燃糸工連事件	5 22
⑧	ロス疑惑	5 19
⑧	中曾根康弘	5 19
⑩	春の甲子園大会	4 18

4月17日～27日号、各2冊

順位	目次	頻度 総頁
①	岡田有希子	10 36
②	マルコス疑惑	6 25
③	マネー情報	4 18
④	輪 島	3 14
⑤	中曾根康弘	3 13
⑤	ヤクルトスワローズ	3 13
⑦	ロス疑惑	2 10
⑧	王・ジャイアンツ	2 9
⑨	清原和博	2 8
⑩	西川きよし	2 7

示した。著者名の明示されていない記事においては、便宜上その雑誌の編集部名を個人著者の姓に準じて扱った。著者（ないしは座談会参加者）が複数の場合は、すべてを列記した。

(2)論題

各記事の冒頭に表示されたとおりに記載した。副題はダッシュの後に連載名、特集名などはカギ括弧に包んで付記した。

(3)雑誌名

各雑誌の表紙に表示されているものを採用した。「月刊」や「週刊」が雑誌名の一部である場合はそのまま記載した。

(4)発行月日次

1986年に発行されたもののみが採録されているので年次数は略した。定期刊行物として月日号次を明記していない時のみ、通号数の中に発行月日を括弧に入れて表示した。なお採録誌の発行頻度は月刊、週刊のほかは季刊、隔月刊、半月刊、旬刊等である。

(5)頁

記事の最初と最後の頁を「～」で結んで記載した。

Ⅲ. フィリピン関係記事目録

- アーミテージ リチャード：フィリピン情勢について——米上院外交委員会でのリチャード・アーミテージ国防次官補（国際安全保障問題担当）の証言：世界政治 1月下旬号 31～34頁
- 秋田 弘：日比賠償汚職から、極東戦略汚職へ：経済 6月号 10～11頁
- アキノ、ミドリ：アキノ一族として苦難の50年——アキノ氏の従兄弟と結ばれて渡比した日本女性が、波瀾に富む過去を綴る：婦人公論 6月号 280～289頁
- 浅田恒穂：フィリピン——混迷する情勢の“影の部分”〈グラビア〉：創 4月号 11～23頁
- アサヒグラフ編集部：マルコス王朝、一瞬に崩壊ノアキノ新政権がスタートした：アサヒグラフ 3月14日号 4～9頁
- ：PEOPLE「アキノ新大統領」「ホセ・マリア・シソンさん」：アサヒグラフ 3月28日号 6～8頁
- ：ハワイの“休日”——マルコス大統領（前）夫妻のヒッカム基地内散歩：アサヒグラフ 3月28日号 19頁
- ：イメルダ・マルコス夫人の玉手箱——マラカニアン宮殿その後：アサヒグラフ 3月28日号 28～29頁
- ：マルコス夫妻の生計を助けるために売却寸前だった旧フィリピン大使館跡地の“怪”：アサヒグラフ 4月11日号 20～21頁
- 朝日ジャーナル編集部：“援助拡大”を変えぬ日本〈緊急リポート、マルコス王朝の崩壊〉：朝日

- ジャーナル 3月7日号 10頁
：フィリピンと日本を考える会〈ネットワーク・71〉：朝日ジャーナル
4月4日号 42～43頁
：“一挙掲載”マルコス文書——リベート，献金，蓄財，宝飾品，後継者，
愛人騒動……疑惑の核心資料：朝日ジャーナル 4月4日号 95～111頁
- アジア井戸ばた会編集部（永迫）：アジア井戸ばた会合宿報告（'85.12.14/15）：井戸ばたニュー
ス 第18（2月2日）号 1～7頁
- アジア太平洋資料センター：“世界の眼”フィリピン民衆の怒りと意志——民族民主戦線（NDF）
声明：新地平 4月号 10～13頁
- アジアの仲間編集部：“日本の皆さんご支援ありがとうございます”——フィリピンからの手紙：アジアの仲
間 第12（4月20日）号 1頁
- Asia link 編集部：マルコス政権下の人権弾圧——3人のNFSWオルガナイザーのサルベージ：
Asia link 春号 6～7頁
- アビト，ルーベン・L・F：フィリピン民衆革命とピープル・パワー：月刊状況と主体 5月号
14～28頁
：フィリピン民衆の勝利〈特集・フィリピン政変と教会〉：アジア通信
5月号 2～5頁
- 北辰武夫：マルコスを追放した民衆の力：まなぶ 4月号 36～39頁
- 網谷利一郎：マニラ——「反マルコス」の自信と不安：エコノミスト 1月14日号 93～95頁
- 新井直尺：フィリピン政変劇——長期独裁政権の崩壊に糸を引くアメリカ〈ニュースの周辺〉：法
学セミナー 5月号 8～9頁
- 荒川博人：フィリピン・地方上水道事業（Ⅰ）（Ⅱ）——典型的なBasic Human Needs充足型のプ
ロジェクトの現状はいかに？〈シリーズ——開発プロジェクトの現状〉：基金調査季報 3月号
54～61頁
：フィリピン・地方上水道事業（Ⅰ）（Ⅱ）——典型的なBHN充足型案件〈事例研究〉
：国際開発ジャーナル 6月号 59～66頁
- 荒木光弥：マルコス・フィーバーと政府の処方箋は……〈From the Editor〉：国際開発ジャーナル
5月号 28～29頁
- アルファロ，ヨランダ・B：「フィリピン株式会社」の構造——「文書」から何が読みとれるか〈マ
ルコス文書を読む〉：世界 6月号 197～204頁
- アレグレ，エディ：バルティド・ナン・バヤン結成へ：世界から通信 6月号 1～2頁
- 飯島みどり：フィリピンとニカラグア〈スクランブル〉：新地平 4月号 108～109頁
- 飯田三郎：フィリピン政変の立役者：潮 5月号 84頁
- いいだもも：マルコスは倒れた，中曽根は去る，そして天皇は……？：季刊クライシス 臨時増刊

- (5月15日)号 38～51頁
- 飯村 弘：早くもキシミ始めた「アキノ」号の舟出——特集・どうなるフィリピンの“明日”：ビッグエー 5月号 30～33頁
- 池住義憲：フィリピンネグロス島の問題と私たちの関わり——市民運動の視点から：NCPC ニュース 第16(6月20日)号 10～12頁
- 池田幹幸：経済協力のあり方を問う——特集・日本独占資本の対外進出：経済 5月号 18～33頁
- 池端雪浦：バクラランの聖母：アジア・アフリカ言語文化研究所通信 第56(3月25日)号 24頁
：フィリピンの政治変革——その歴史と内側：婦人の友 5月号 50～56頁
- 石川重弘：私が捕われたホロ島の日常〈グラフィア〉：新雑誌X 6月号 7～10頁
：救出されて、まず考えたこと・手記——特別企画・快拳ノ国家を超えた“カメラマン救出”陰の功労者群像：新雑誌X 6月号 36～39頁
- 石川文洋：“ピースボート85”の素晴らしい若者たち〈人生学ぶことばかり・第7回〉：教育 1月号 74～85頁
：アキノ新政権はアーバン・プーアを救えるか〈人生学ぶことばかり・第11回〉：教育 5月号 104～115頁
- 石原健太郎・浅川博忠：アキノ大統領と会って——フィリピンへの協力は国益の上から大切だ〈探訪・明日の精鋭44〉：時の課題 5月号 69～73頁
- 石原慎太郎：アキノ政権誕生——氏族社会の黎明：中央公論 4月号 58～61頁
：政治劇の舞台・フィリピン——現代史の分水嶺2：諸君ノ 5月号 68～83頁
- 石原慎太郎・鳥羽嶺次郎：マルコス王朝崩壊の日——マルコス亡命で新局面を迎えたフィリピン。米の影、政権内の統一など難問が山積みだ：知識 4月号 104～112頁
- 和泉記者：民衆の希望を踏みにじった後には……在日15年のK氏は語った——在日フィリピン人が見た2.7大統領選：国際開発ジャーナル 3月号 76～78頁
- 伊丹幸二：マルコス崩壊と新体制の今後：公明 4月号 106～113頁
- 井田節子：ラジオ・ヴェリタスと草の根の宗教活動——特集ピープルパワー：Filipica 第21(4月号) 12～26頁
- 市 雄貴・桃井健司：ニューヨークのマルコス資産：朝日ジャーナル 4月11日号 132～133頁
- 市 雄貴(聞き手)：まだ調査の手及ばぬ日本関係資料(野沢勝美・若宮清・黒柳明)：朝日ジャーナル 4月18日号 108～109頁
- 伊藤一彦：フィリピンの政変：月刊官界 5月号 32～33頁
- 伊藤公介：マルコス崩壊を現地に見る——激動のさなかに三たびマニラへ飛んだ政策委員長が語る政変の顛末：月刊新自由クラブ 4月号 74～79頁
- 伊藤正孝：民衆と軍とメディアの革命——緊急リポート・マルコス王朝の崩壊：朝日ジャーナル 3月7日号 6～8頁

- ：援助の蜜なめた日本企業一覧：朝日ジャーナル 4月11日号 128～131頁
- 伊藤光彦：痛感した事実の重み・東京でのデスクワークを中心に——フィリピン“政変”を追う：新聞研究 4月号 53～56頁
- 井上礼子：ともに喜び、戦列を整える〈特集・フィリピン人民は革命の深化をめざす〉：世界から夏（6月5日）号 11～15頁
- イピル・イピル編集部：「人民の力」革命その後——投書欄に拝見，一般市民の胸のうち：Ipil・ipil 第14（5月1日）号 1～5頁
- イボン編集部：アジア開発銀行 in フィリピン PART II：Laban 第21（1月28日）号 1～2頁
 ：The Military——その横顔：Laban 第22（2月28日号） 1～3頁
 ：土地の再分配・アキノ新政権の課題：Laban 第23（4月8日号） 2～3頁
 ：パターン原発VS負債：Laban 第24（5月31日）号 2頁
 ：多国籍企業VSサンチェス労働大臣：Laban 第24（5月31日）号 6頁
- 今川瑛一：民主主義か世界戦略か①〈世界の眼〉：Book World 5月号 11～15頁
- 伊従直子：スラムに生きる人々——なぜスラムに関わるのか：社会運動 第73（4月15日）号 28～30頁
- 岩村立郎：見限りの大切さ知った米国——緊急レポート・マルコス王朝の崩壊：朝日ジャーナル 3月7日号 8～10頁
 ：劇的な政権交代と米国マスコミ——フィリピン“政変”を追う：新聞研究 4月号 50～52頁
- 岩村俊明：バヤンはどう闘うか——マルコス打倒後のフィリピン解放闘争：インパクション 第41（5月15日）号 13～15頁
 ：フィリピン革命運動との交流から何を獲得するのか——国際共産主義運動の前進に向けて：マルクス・レーニン主義をかかげて 第15（3月23日）号 6～19頁
- インサイダー編集部：フィリピン“微笑の革命”——米にふりかかるツケの重圧：インサイダー 3月1日号 2～4頁
 ：マルコスとラクソルト〈最後の対話〉：インサイダー 3月1日号 3頁
 ：在フィリピン米軍基地の役割——ヘリテージ財団の分析：インサイダー 3月1日号 5頁
 ：フィリピン革命：余話——「CIAとDIA 80人の工作線」他：インサイダー 3月15日号 5頁
 ：西武クレジットと若宮清〈INSIDE & INSIGHT〉：インサイダー 5月1日号
 ：マルコス帰国もありうる？——その後のフィリピン情勢：インサイダー 5月15日号 6頁

- インタラタイ、クントン：東南アジアから見たマルコス政権の崩壊：月刊状況と主体 5月号 5～13頁
- ウィル編集部：マルコス・ショック——日本企業の“保険のかけ方”：will 4月号 108～111頁
- ウォルフオウィッツ、ポール：フィリピン情勢について——ポール・ウォルフオウィッツ米国務次官補（東アジア・太平洋担当）の上院外交委員会での証言：世界政治 40～44頁
- 臼井敏男：追跡ノマルコス疑惑——日本政府の“お墨付き”あった汚職構造：朝日ジャーナル 5月2日号 14～16頁
- ：追跡ノマルコス疑惑——知らず、喜ばず、役立たず・フィリピン民衆から見る日本の経済協力：朝日ジャーナル 5月9日号 84～87頁
- 内山彰彦：我らの放送・我らの楽しみ——特集・途上国の最新メディア事情：クロスロード 6月号 53～55頁
- 宇都宮徳馬：（Ⅱ）マルコス汚職と日本との関連——参院予算委員会における宇都宮徳馬議員の中曽根首相との質疑応答：軍縮問題資料 第67（6月）号 50～53頁
- 梅林宏道：第三世界介入に使用か?! トマホークの新たな側面：フィリピン通信 第17（1月25日）号 1頁
- 梅原弘光：フィリピンの暦と生活〈第三世界の暦と生活7〉：アジ研ニュース 第65（1・2月合併）号 18頁
- 浦護高夫：フィリピンに対して短兵急な批判は不可：生存 3月号 2頁
- ト部敏男：訪問インタビュー——ト部敏男元フィリピン大使に聞く：まぶはい 3月号 9～12頁
- ：新しい日比関係を考える：正論 特別増刊（4月5日）号 161～162頁
- 噂の真相編集部：若宮清——自己顕示欲だけで“活躍”した日比両国に咲いた“徒花”〈マスコミ虚人列伝第2回〉：噂の真相 5月号 62～65頁
- エコノミスト編集部：In the News 始まった新日比経済関係の模索、旧構造の清算、新たな受け皿の模索は：エコノミスト 3月18日号 6～7頁
- ：フィリピンへの冷静な目〈記者の目〉：エコノミスト 3月18日号 37頁
- ：浮上したマルコス疑惑の行方——解明阻む時効の壁、法律の壁〈In the News〉：エコノミスト 4月8日号 8～9頁
- X Y Z：アキノ革命とスペースシャトル〈なんでも裏から読め〉：新雑誌X 5月号 66～67頁
- ：マルコスゲートの口封じ〈なんでも裏から読め〉：新雑誌X 6月号 108～109頁
- 江橋正彦：三年後のアキノ政権——経済再建、共産勢力の対応に苦しむアキノ政権に曙光が見え、安定化の兆しが出てきた：知識 6月号 48～55頁
- E P I C情報サービス：ポストマルコス時代を観るノ：Laban 第23（4月8日）号 5～7頁
- 大沢 清：フィリピン無血大革命成就——これからの日本人は：マニラ会 第18（3月31日）号 1～2頁

- 大野三郎, 加東康一, 島田洋州, ばばこういち: フィリピン報道でテレビは何を伝えたか〈緊急提
言いま放送を問う〉: 放送批評 5月号 8~13頁
- 大野拓司: 民主主義の幻想を逆手にとった独裁者: 朝日ジャーナル 2月7日号 86~88頁
- 大橋成子: 米国の支配に対する闘いは続いている: 世界から通信 3月号 3~4頁
- 大部順一: アキノ暗殺を見た——「嘘」で英雄になったあの若宮清氏が参院選出馬の錯覚: サンデー
毎日 3月30日号 19~21頁
- 岡野加穂留: 終りなきフィリピンの悲劇, アキノ新政権の不安な前途を予想する六つの政治的指標
: 経済往来 4月号 120~128頁
- 小野紀美子: “母性原理”のフィリピン革命〈我楽多レーダー〉: 労働レーダー 4月号 60頁
- 小原裕子: バターン輸出加工区——マリベレス住民に何をもたらしたか その1: NCPC ニュース
第14(2月5日)号 12~14頁
: バターン輸出加工区——マリベレス住民に何をもたらしたか その2: NCPC ニュース
第15(4月20日)号 6~9頁
: バターン輸出加工区——マリベレス住民に何をもたらしたか その3: NCPC ニュース
第16(6月20日)号 6~9頁
- 海外経済協力基金マニラ駐在員事務所: 大統領選挙と新政権の課題〈駐在員報告〉: 基金調査季報
第52(6月)号 146~154頁
- ガスバル, カール: カール・ガスバルの手紙: アジアの声 第45(1月1日)号 6~9頁
- 河嶋慎一: ペドロ・チリーノ「フィリピン記事」〈資料紹介〉: アジア・アフリカ資料通報 1月
号 30~36頁
- 川端伸子: 普通の協力活動〈青年海外協力隊活動シリーズ〉: まぶはい 6月号 4~5頁
- 加藤 博: 激動のフィリピン〈文評フォトギャラリー〉: 文化評論 4月号 1~8頁
: 燃えるフィリピンをこの目で見た!〈現地緊急ルポ〉: 文化評論 4月号 178~188頁
: ピープルズ・パワー新生フィリピンの行方〈現地ルポ第2報〉: 文化評論 5月号
170~177頁
: マルコス国営テレビがピープルズテレビに変わった日: 放送レポート 5月号 2~8
頁
- 角川 修: ビコールでの機械化農業〈青年海外協力隊活動シリーズ〉: まぶはい 4月号 7~8
頁
- 神尾昭男: フィリピン新政権と日本の対応: 週刊東洋経済 3月8日号 36~37頁
- 紙屋健一: 昭和60年度をおくる〈MJS日本人学校だより〉: まぶはい 4月号 30~31頁
- 神谷不二: フィリピン論の本末転倒を正せ: THIS IS 6月号 126頁
- カブロン, エミール: 友人への手紙〈特集・フィリピン政変と教会〉: アジア通信 5月号 11頁
- 香山由人: フィリピンの(L)——マニラの下町から: 井戸ばたニュース 第19(4月25日)号

1～4頁

カリーニョ, フェリシアーノ：大統領選挙とその後〈特集・フィリピン政変と教会〉：アジア通信
5月号 12～13頁

川本和考：フィリピンとイラン〈ニュースレター・フィリピン〉：海外事情 4月号 68頁

菊地 弘：新生フィリピンの反政府勢力——新旧財閥の闘いのあとで…：月刊新日本 4月号 38
～43頁

菊地 靖：個人関係の論理が優先——コンパドラスゴ中心の社会・混迷のフィリピン情勢を読む：
世界週報 1月22日号 43～47頁

北沢正雄：世界の革命 or スキャンダル情報——風変わりなクーデター：新雑誌X 5月号 72～
73頁

北沢洋子, 鶴見良行, 村井吉敬, 川崎寛治：座談会・アジアの開発援助と日本——いま, 質の転換
のために：月刊社会党 5月号 72～98頁

北野 充：フィリピンに新風——アキノ新政権誕生と今後の展望：経済と外交 5月号 14～18頁

木下 厚：暴動寸前！王朝の終焉に怯えるマルコスの手は冷たかった：宝石 4月号 98頁

：マルコス&イメルダ独占会見録：週刊ポスト 4月25日号 30～34頁

木元茂夫：アジア民衆とともに天皇制を考える——4・5討論集会報告：世界から通信 4月号
6～7頁

KMU：フィリピン資料KMU声明：労働情報 第213（5月1日）号 18頁

きや：比島援助は骨を埋めるつもりで〈自由の眼〉：自由 5月号 74～76頁

京田行創：韓国改憲闘争の動き——フィリピンは次の韓国か？：新地平 4月号 10～11頁

陸井三郎：アキノ新政権下で和解は続くか——土地改革と軍事協定が当面の課題：エコノミスト
6月17日号 28～35頁

工藤瑞穂：ネグロス島にもうひとつの支援を!! 民衆連帯運動の課題：新地平 6月号 67～71頁

国木田勝：緊急レポート比新政権の前途に難題山積——踏みとどまる日本企業への疑問：月刊公論
3月号 79～81頁

栗本慎一郎：演劇的だった悪役マルコス——“吉本新喜劇”メディア・クーデター：朝日ジャーナ
ル 3月14日号 16～18頁

ぐるーぶ波：波・事実と数字——焦点化する在比軍基地太平洋とインド洋をむすぶ関門：労働情報
第213（5月1日）号 20(21頁)

久和ひとみ：マニラの「人」とハレーに逢いに：現代 6月号 436～437頁

黒田勝弘：フィリピン政変をめぐる〈焦点・論点〉：現代コリア 第260（4月）号 16～19頁

軍事研究編集部：随想・国家戦略——軍隊を失ったマルコス政権：軍事研究 5月号 127～129頁

月刊官界編集部：後手に回ったアキノ新政権への対応〈特集・霞クラブキャップ覆面座談会〉：月
刊官界 5月号 68～69頁

月刊新聞ダイジェスト編集部：マルコス資産暴露の米3記者にピューリツアー業：月刊新聞ダイジェスト No.230 15頁

月刊新日本編集部：虚次元未知数・アキノ新大統領の前途——早くもポスト・アキノを狙う側近は野心家ぞろい：月刊新日本 4月号 11頁

月刊ニュースファイル編集部：特集・比大統領にアキノ夫人く1/26～2/25の記事：月刊ニュースファイル 4月号 18～31頁

：マルコス資産疑惑問題く3/26～4/20の記事：月刊ニュースファイル 6月号 53～58頁

現代コリア編集部：「南朝鮮のフィリピン化」を期待く南北レーダー'86：現代コリア 第262(6月号)号 14～15頁

香原志勢：アキノ大統領の眼鏡：Voice 6月号 186～189頁

肥塚 隆：フィリピンくシリーズ/アジアの資源——第4回：国際資源 第136号 11～17頁

国際協力情報編集部：対比経済援助，過去・現在・未来：国際協力情報 第3094(3月28日)号 12～28頁

国防編集部：海外論調——アキノ政権の課題：国防 4月号 36～41頁

国際開発ジャーナル編集部：基金借款総点検 [ASEAN] フィリピン——異常に高い商品借款のシェア：国際開発ジャーナル 4月号 42頁

：アジア9ヶ国部門別承諾累計額・件数——フィリピン：国際開発ジャーナル 4月号 125頁

：借款プロジェクトを見る Part-2 ——フィリピン地方上水道事業Ⅲ：国際開発ジャーナル 4月号 130頁

：NGOニュース——フィリピン問題をめぐる動き：国際開発ジャーナル 4月号 190～191頁

国防編集部：比政変とアジア・太平洋情勢——国内不安定が新たな混乱要因に：国防 4月号 8～27頁

コスモポリタン編集部：ニュース・キャスター“安藤優子”さんに聞く，よくわかる“フィリピン事情”：COSMOPOLITAN 5月20日号 81～85頁

小曾根治：取り巻き優先主義が裏目——マルコス流財閥操縦法の実態：世界週報 2月25日号 14～19頁

小路克雄：ブラカンでの畜産指導く青年海外協力隊活動シリーズ：まぶはい 5月号 2～4頁

五島 昭：前途多難なアキノ政権く香港『ファー・イースタン・エコノミック・レビュー』86・3・6号から：エコノミスト 3月18日号 38頁

五島隆夫：フィリピン政変劇のシナリオ・ライターのアマコスト次官：現代の理論 4月号 68～69頁

- 小林昭三：フィリピン大統領選非難が見落していること〈憲法学者のみる時局の焦点〉：政界ジャーナル 4月号 58～59頁
- 小西昭之：弾みつくレーガン・ドクトリン〈特集・フィリピンの新生〉：エコノミスト 3月11日号 18～22頁
：ワシントン特電・“無血革命”の仕掛人ホワイト・ハウスの大満足：サンデー毎日 3月16日号 25～27頁
- コモンセンス編集部：マルコス最後の賭——フィリピン・クライシス：COMMON SENSE 4月号 20～47頁
：独裁者たち——権力と野心の軌跡：COMMON SENSE 6月号 20～21頁
- 財界編集部：“10%マダム”の集金旅行訪日アルバム——援助大国・日本を訪れたイメルダ・マルコス夫人の10年間〈今週のPhoto Story〉：財界 4月号 152～153頁
- 斉藤 玄：世界はいま——いま、フィリピンノ——民族解放運動の新しい特徴について：社会主義 1月号 105～111頁
：民族解放運動の試練——いまフィリピンノ：社会評論 第57（4月1日）号 67～75頁
- 斉藤達雄：マルコス王朝自壊の構図——フィリピンの“田中角栄”：文藝春秋 4月号 264～276頁
- 斉藤 忠：これからのフィリピンに起こり得るもの——新人民軍との対決と国軍分裂の危機：月刊大吼 6月号 42～43頁
- 坂下一郎：マルコス疑惑で危い丸紅・四位の座：実業往来 6月号 4～8頁
- 坂本 栄：揺らぐ日本の対外援助“神話”：世界週報 4月29日～5月6日 合併号 32～38頁
- 坂本芳典：フィリピン20年のマルコス独裁の崩壊——大統領選挙がもたらしたもの：世界政治 3月号 34～37頁
- 佐々木宏明：中学部修学旅行〈MJS日本人学校だより〉：まぶはい 第114（2月）号 29～31頁
：マニラ日本人学校のシステム〈MJS日本人学校だより〉：まぶはい 3月号 27～29頁
- 佐田一郎：東陽テクニカの情報人間・野村長という男——マルコス疑惑の渦中にある中堅商社とその創業者像に迫る：実業往来 6月号 10～13頁
- 佐藤欽也：緊急報告・真の勝者は腕力か——比大統領選の暗黒：朝日ジャーナル 2月21日号 6～9頁
- 佐藤幸男：フィリピンの次はどこが……：エコノミスト 3月25日号
- サルミエント，ホアン・J：新政権と対外債務問題：フィリピン通信 第23（6月10日）号 4～5頁
- サンチャゴ，J：殻のついたもみ（フィリピン「ピースメーカー」'85，第3号より）：Laban 第22（2月28日）号 5頁

- サンティアゴ・ロウィナ：フィリピンから来たサンティアゴ先生は研修中：日本語ジャーナル 6
月号 巻頭グラビア 4頁
- サンデー毎日編集部：グラビア“混迷”“騒乱のフィリピン大統領選。”アメリカの後退で既定路線
を突っ走るか：サンデー毎日 3月2日号 10～11頁
： “破茶滅茶”マルコスと“マッチポンプ”のレーガンと——比大統領選緊急
レポート：サンデー毎日 3月2日号 21～23頁
： 政府が公表を拒否する対フィリピン円借款事業の全貌だ！——スクープ・極
秘全リスト入手：サンデー毎日 4月20日号
- サンビクトーレス, B. F.：叙勲の名誉を得て：まぶはい 第113（1月）号 10～11頁
- 椎名素夫：フィリピン政変と日本の外交課題：月刊自由民主党 4月号 100～107頁
： アキノ政権要人会見記〈特集・どうなるフィリピンの“明日”〉：big A 第34（5月）
号
- シソン, ホセ・Ma.：青い海を越えて：Laban 第21（1月28日）号 6頁
： 燃える茂みから：Laban 第23（4月8日）号 4頁
： 殉教者を称えよ：Laban 第24（5月31日）号 3頁
： 新生フィリピンを展望する〈インタビュー〉：世界 5月号 150～160頁
- 実業界編集部：トピックス・強欲マルコス！鹿島建設も手玉——リポート目当ての大使館跡地売却
で不正蓄財計画——実業界 6月1日号 33頁
： 世界が注視！マルコス前大統領の“不正蓄財・その“波紋”とフィリピンの“常識”
：実業界 6月1日号 51～53頁
- 篠崎裕二：アキノ政権は脆弱ではない：エコノミスト 4月8日号 124頁
- 芝生瑞和：マルコス体制の崩壊と民衆——待ち構える“ベトナム”への道〈現地報告・フィリピン
の混沌1〉：エコノミスト 2月25日号 24～29頁
： 選挙直前の現地を歩く 独裁者はいつか自らを亡ぼす——選挙後のフィリピンはどう動
くか：世界3月号 161～171頁
： 米国の綱渡りが始まる——街頭では大規模な大衆運動〈現地報告・フィリピンの混沌2〉
：エコノミスト 3月4日号 54～59頁
： 昨日の真実は今日の真実ではない——ついにマルコスは去った〈現地報告・フィリピン
の混沌3〉：エコノミスト 3月11日号 12～17頁
： 鳥はカゴから放たれた——軍部と教会はどう動く〈特集・フィリピン新政権の基盤〉：
エコノミスト 3月18日号 12～18頁
： ハイメ・シン枢機卿——われわれは正義を求めた〈インタビュー〉：エコノミスト 3
月18日号 18～21頁
： シソン元共産党議長単体会見：エコノミスト 3月25日号 26～31頁

- ：いま何が始まったのか——本当の“和解”はこれから〈現地報告・フィリピンの混沌6〉
：エコノミスト 4月1日号 28～33頁
- ：コラソン・アキノ大統領の実家を訪ねる——大農園を経営するコファンコ家は現代の
“領主”だ：アサヒグラフ 4月4日号 10～17頁
- ：マルコスが打倒された。そして——湧き上がる民衆のエネルギー：月刊社会党 4月学
54～65頁
- ：円借款の総元締と呼ばれた高官は明らかに動揺していた〈フィリピン現地報告・マルコ
ス疑惑の霧は晴れるか〉：週刊朝日 4月18日 24～27頁
- ：ラモス將軍独占インタビュー：Emma 4月25日号 18～19頁
- ：マルコスは打倒された。そして——フィリピン新生をめざすアキノ政権：月刊社会党
5月号 112～125頁
- 島 昌代：フィリピン遊学記：井戸ばたニュース 第19（4月25日）号 5～7頁
- 島村洋造：フィリピン民衆革命と国軍——内政安定のカギ握る軍改革：国防 5月号 8～21頁
- 沈 ^{シム} ^{ミョンスン} 明勳：フィリピン情況と南朝鮮の改憲署名運動：月刊朝鮮資料 5月号 19～31頁
- 週刊朝日編集部：マルコス、アキノどちらがなっても波乱は必至：週刊朝日 2月21日号
- ：マルコス王朝の崩壊〈グラビア〉：週刊朝日 3月14日号 1～4頁
- ：女帝イメルダマラカニアン宮殿“宴のあと”——コリー・アキノ新大統領の“ラ
バン”：週刊朝日 3月14日号 28～32頁
- ：コリー・アキノのラバン——いままでのフィリピンは死に値する：週刊朝日 3
月14日号 32～33頁
- ：解放された独裁者の館〈グラビア〉：週刊朝日 3月14日号 19～21頁
- ：いままも生き続けるフィリピンの石器時代人として紹介されたタサダイ人は、マル
コス派のやらせ：週刊朝日 4月18日号 4～5頁
- 週刊アサヒ芸能編集部：アキノ大統領令嬢は本当に日本で歌手デビューできるのか：週刊アサヒ芸
能 3月27日号 20～23頁
- ：日比混血児エコノミック・ベイビーの傷跡：週刊アサヒ芸能 3月27日号
38～41頁
- ：マルコスと情事にふけた愛人女優はいま大富豪夫人：週刊アサヒ芸能
4月10日号 16～21頁
- 週刊現代編集部：緊急総力取材——不可解独裁国フィリピン大混乱劇の内幕を抉る：週刊現代 3
月1日号 20～25頁
- ：フィリピンの次は韓国，“半島激震”の切迫予兆：週刊現代 3月29日号
- 週刊サンケイ編集部：“鋼鉄の蝶”イメルダ夫人の栄光と凋落〈グラビア〉：週刊サンケイ 3月
20日号

- ：かつては故アキノ氏の恋人だったイメルダ夫人の数奇な運命：週刊サンケイ 3月20日号 22～26頁
- ：断トツ「丸紅」を崩せ——比商社競争激化へ：週刊サンケイ 3月20日号 101頁
- ： “マニラの英雄” 若宮清の現地レポート——ニノイの墓に参ってくれたの、がアキノ大統領の第一声だった：週刊サンケイ 3月20日号 26～27頁
- ： 田中角栄のほかに名指しされるマニラロビーの犯人捜し：週刊サンケイ 4月10日号 33～34頁
- ： 日本人カメラマン “涙の生還” 比反政府ゲリラに誘拐されてから1年2か月〈グラビア〉 週刊サンケイ 4月24日号 196～197頁
- 週刊女性編集部：イメルダ——米国俳優との醜聞ノ：週刊女性 4月22日号 182～185頁
- 週刊新潮編集部：マルコス王朝の命運に固唾を飲む “日本商社” の利害：週刊新潮 3月6日号 162～165頁
- ： マルコスからアキノへ、レーガン大統領の二転三転：週刊新潮 3月13日号 34～38頁
- ： アキノ政権でも日本商社はこうする：週刊新潮 4月3日号 148～151頁
- ： 新都庁シティホールの設計を獲得した丹下『イメルダ』夫人：週刊新潮 4月17日号 220～123頁
- ： マルコスにすぐ駆けつけるから探られる山口前労相の腹：週刊新潮 4月24日号 28～32頁
- ： 箆口令を敷かれた「アキノ批判」閣議の全貌：週刊新潮 5月1日号 152～155頁
- 週刊大衆編集部：世界中から「戦争カメラマン」が集まった——フィリピンの“開戦前夜”：週刊大衆 3月3日号 12～14頁
- 週刊ダイヤモンド編集部：早くも“アキノ詣り”——マルコス人脈から乗り換え図る在比日系企業の思惑：週刊ダイヤモンド 3月8日号 8～9頁
- 週刊東洋経済編集部：外務省“アキノ女史勝利”で、外務省がまたも赤っ恥、霞が関を歩けない？
- ： 週刊東洋経済 3月8日号 46頁
- ： 覆面座談会・フィリピン 日米は腐敗生む“援助”の再検討を〈今週の問題1706回〉 週刊東洋経済 3月8日号 70～73頁
- ： 覆面座談会・マルコス疑惑 アキノが握る対日本“政治時限爆弾”〈今週の問題1711回〉 週刊東洋経済 4月12日号 72～75頁
- 週刊プレイボーイ編集部：モロ民族解放戦線（MNLF）に誘拐、監禁された日本人カメラマン——石川重弘さんついに救出される!!：週刊プレイボーイ 4月8日号 218～221頁

- ：《マルコス \$ 小切手》の謎を追え!!——総額30億円の“隠し資金”が日本国内に流入!?: 週刊プレイボーイ 5月6日号 52～53頁
- 週刊文春編集部：“マルコスと心中”の薄氷を踏んだ日本“炎熱商人”のフィリピン大統領選：週刊文春 2月20日号 30～33頁
- ：マルコス王朝夢の跡〈現地特派ワイド特集〉：週刊文春 3月13日号（グラビア12頁）
- ：「拝啓 新聞殿」フィリピン政変に対するソ連の応対について：週刊文春 3月13日号 31頁
- ：アキノ新政策に固唾をのむ女・拳銃のマニラ・コネクション〈大特集・2〉：週刊文春 3月13日号 167～169頁
- ：通産省担当官の自殺で色めき立つ「マルコス文書」これからの醜聞：週刊文春 4月3日号 34～37頁
- ：マルコス、核心告白「その夜、なぜか通じなかったミスター中曾根と私のホットライン」：週刊文春 5月1日号 160～165頁
- ：マルコスに従ってハワイに逃げた元高級官僚ら十五人の“金ナシ夢ナシ”のザコ寝暮らし〈グラビア〉：週刊文春 5月8日号 18～19頁
- ：例の“フィリピン心霊手術師”が逮捕されてどうなった？“協賛有名人”の古い傷あと：週刊文春 5月8日号 36～38頁
- 週刊宝石編集部：日本も“加担”したマルコス前大統領3兆円の隠し財産!：週刊宝石 3月21日号 48～51頁
- ：リベート、酒、日本女性、私はこうして「マルコス高官」を買収した!：週刊宝石 4月11日号 30～34頁
- ：イメルダ夫人のソ連スパイ行為幫助がフィリピン・クーデターの引き金だった!：週刊宝石 5月16日号 34～38頁
- 週刊ポスト編集部：マルコス王朝激震!：緊迫の対ソ米軍基地の空撮写真入手：週刊ポスト 2月28日号 28～33頁
- ：マルコス直筆指示書に登場の『対比円借款疑惑』と『大商社』〈深層追及・第1弾〉：週刊ポスト 3月21日号 40～43頁
- ：安部外相の『立入り調査不能』発言はもってのほか!〈深層追及・第2弾〉：週刊ポスト 3月28日号 193～195頁
- ：米議会『マルコス極秘文書』公表と丸紅『社長室』の迎撃体制〈深層追及・第3弾〉：週刊ポスト 4月4日号 42～45頁
- ：スービック修理造船所建設の受発注と『鹿島』『五洋』『川崎重工』〈深層追及・第4弾〉：週刊ポスト 4月11日号 48～51頁

- ：同日選挙の鍵を握る㊟スキャンダル：週刊ポスト 4月18日号 42～45頁
- ：『丸紅』『マルコス』を結ぶダミー会社の正体を洗う〈深層追及・第5弾〉：週刊ポスト 4月18日号 192～194頁
- ：対韓『106ミリ砲輸出』事件と対比円借款を洗う〈深層追及・第6弾〉：週刊ポスト 4月25日号 211～214頁
- ：円借款㊟スキャンダルをめぐる与野党のおかしな雲行き〈深層追及・第7弾〉：週刊ポスト 5月2日号 192～194頁
- ：秦豊が「マルコス政権の自民党献金リストに迫る」〈深層追及・第8弾〉：週刊ポスト 5月7日号 57～59頁
- ：対比円借款疑惑・対フィリピン商品借款こそマルコス疑惑の核心だ〈深層追及・第9弾〉：週刊ポスト 5月16日号 190～193頁
- ：フィリピン中央銀行“商品借款リスト”と外務省“公表資料”のくい違いを洗う〈深層追及・第10弾〉：週刊ポスト 5月23日号 192～194頁
- ：ぐうたら国会は憲政史に汚点をのこした。円借款疑惑解明もうやむや〈深層追及・第11弾〉 192～193頁
- 週刊読売編集部：もう先が見えている？アキノの新政権：週刊読売 3月16日号
- ：サロンガ・フィリピン倫理委員長が明かした日本にもあるマルコス資産：週刊読売 4月6日号 31～33頁
- ：マルコス氏の置きみやげ「豪華ヨット」に入る：週刊読売 4月13日号 2～3頁
- ：もうひとつマルコス氏の置きみやげ ゴミ山〈スモークーマウンテン〉に生きる人々（マニラ）：週刊読売 4月13日号 5～7頁
- ：ひと目でわかるマルコス人脈全リスト：週刊読売 4月13日号 150～152頁
- ジャパンポスト編集部：マルコスがハワイに軟禁されている理由：ジャパンポスト 5月号 24～25頁
- ：N P Aに悩むアキノ政権——これじゃマルコス時代と同じ？：ジャパンポスト 6月号 24～25頁
- 東海林勤：希望は民衆の闘いにある——パンパンガの農村を訪ねて：フィリピン通信 第21（4月10・25日）号 1頁
- 諸君ノ編集部：フィリピン“革命”に踊った新聞：諸君ノ 5月号 58～67頁
- 女性セブン編集部：アキノ大統領に単独会見：女性セブン 3月27日号 38～42頁
- ：イメルダ夫人に直撃インタビュー：女性セブン 5月15日号 68～72頁
- 白石かずこ：マニラにおける二日：第三文明 6月号 20～21頁
- 新雑誌X編集部：資料・石川カメラマン救出陰の功労者群像——特別企画ノ快拳ノ国家を超えた

- “カメラマン救出”陰の功労者群像：新雑誌X 6月号 11頁
- シンブラン・ロランド：人民の闘いで“10月革命”へ〈フィリピンインタビュー〉：労働情報 5月1日号 16～17頁
- ：たたかい続けるピープルズ・パワー——フィリピン人民の新しい挑戦：世界から通信 4月号 1～2頁
- ：真の改革がなされるよう人民を徹底的に支援してほしい：フィリピン通信第21（4月10・25日）号 2頁
- ：アキノ新政権の課題と展望——二月革命を十月革命に〈フィリピンは変わったのか〉：新地平 6月号 60～66頁
- ：無視できない政治勢力——国軍改革運動（RAM）：世界から 夏（6月5日）号 46～49頁
- 新聞月報編集部：フィリピン政変（2月1日～28日の主要記事）：新聞月報 4月号 16～43頁
- ：マルコス資産問題（3月1日～30日の主要記事）：新聞月報 5月号 16～34頁
- ：マルコス疑惑（4月1日～30日の主要記事）：新聞月報 6月号 25～32頁
- 新聞論潮編集部：2月の社説の流れ——フィリピン史上最も汚れた選挙：新聞論潮 3月号 6～11頁
- ：〈特集〉フィリピン政変：新聞論潮 3月号 6～28頁
- ：フィリピン大統領選——軍部決起：新聞論潮 3月号 30～40頁
- ：3月の社説の流れ——「マルコス疑惑」の徹底的究明を：新聞論潮 4月号 6～11頁
- ：特集・マルコス疑惑：新聞論潮 4月号 16～23頁
- 菅野成子：ルバン島のたたかい〈連載第6回・小野田少尉30年の謎〉：軍事研究 4月号 104～115頁
- ：ルバン島のたたかい〈連載第7回・小野田少尉30年の謎〉：軍事研究 5月号 104～115頁
- ：ルバン島のたたかい〈連載第8回・小野田少尉30年の謎〉：軍事研究 6月号 104～115頁
- ：激動!!フィリピンの二ヶ月——強妻イメルダとコラソン未亡人の熱い戦い——この目で見たノマルコス逃亡とアキノの勝利：月刊大吼 5月号 60～65頁
- 鈴木和夫、大橋成子、工藤瑞穂：フィリピンは変わったのか〈民衆連帯運動の課題・上〉：新地平 5月号 62～73頁
- 鈴木啓一：AJインタビュー イメルダさえいなければマルコスはいい大統領のままだったのに 大宮のフィリピン・バーで働くプレシィさん：朝日ジャーナル 3月7日号 108～109頁
- 鈴木静夫：特集 フィリピンの新生“民衆の勝利”を懸念する ASEAN 諸国：エコノミスト 3月

11日号 23～27頁

鈴木佑司：マルコス体制崩壊の構図——東南アジア政治の新潮流を読む：世界 4月号 177～184
頁

須藤忠昭：マスコミ時評 フィリピン報道をめぐって：教育 4月号 75頁

砂田利一：マニラの熱い日々——数学者の見たフィリピン：数学セミナー 6月号 32～35頁

政界往来編集部：週刊記者匿名座談会 マルコス疑惑で各野党が独自調査を開始する：政界往来
5月号 263～269頁

政界ジャーナル編集部：ワールドレポート 当初はマルコス支持だったアメリカ：政界ジャーナル
4月号 99～100頁

：よく似た比国と日本 今月の論調：政界ジャーナル 5月号 10～11頁

：フィリピン国にあおられたソウル政情 韓国：政界ジャーナル 5月号

112～113頁

：マルコス疑獄に引きずり込まれた日本：政界ジャーナル 5月号 5～

116頁

世界時報編集部：TVニュースで見たフィリピン新大統領の笑顔 コラソン・アキノ夫人に贈りたい「声援」：世界時報 4月号 54～55頁

世界週報編集部：今後が問われる救国の大統領 コラソン・アキノ〈顔〉：世界週報 3月18日号
34頁

：フィリピン政変を見詰めた隣国 マレーシア シンガポール インドネシア：世界週報 4月8日号 34～39頁

：大統領“非常大権”を掌握 アキノ比政権暫定憲法を公布：世界週報 4月8日
号 8頁

：円借款 DATABANK：世界週報 4月15日号 57頁

：フィリピン基地＝米軍再配置の選択<上> スービック・クラーク両基地を失っ
たら：世界週報 4月15日号 50～55頁

：フィリピン基地＝米軍再配置の選択<下> スービック・クラーク両基地を失っ
たら：世界週報 4月22日号 52～61頁

世界政治編集部：フィリピン・アキノ政権暫定憲法を公布：世界政治 4月下旬号 63頁

：フィリピン・アキノ新政権の暫定憲法 暫定憲法公布の大統領布告第3号：世界
政治 4月下旬号 31～38頁

：フィリピン・アキノ政権成立と新民族同盟（バヤン）：世界政治 4月上旬号
24～28頁

関口孝夫：「経済援助」の錬金術——腐敗の系譜ノート：文化評論 6月号 47～57頁

関谷ナナ：フィリピン大学日本語教師（JOCV青年海外協力隊活動シリーズ）：まぶはい 第

114（2月）号 5～7頁

相馬信夫：自活への道をさぐる砂糖労働者たち：フィリピン通信 第22（5月10・25日）号 1頁

相馬信夫，中嶋正昭，深水正勝，前島宗甫ほか：今日のフィリピン・韓国の情勢とわれわれの立場
〈声明〉：世界 6月号 254～255頁

曾根泰教：クーデターか革命か——フィリピン政変が問いかける選挙と正統性の罫：中央公論 4
月号 52～53頁

曾野 明：共通一次のパスした中曾根外交〈世界情勢のぞき眼鏡〉：諸君ノ 6月号 225～226頁

第三文明編集部：試練に立つアキノ政権——いま，日本による経済援助の中身がきびしく問われて
いる：第三文明 5月号 34～41頁

大部順一：奥さま大統領の細腕に重いこの「飢餓」をどうするノ：サンデー毎日 3月16日号 28
～29頁

鷹沢のり子：民意からほど遠いマルコス式選挙の生態——「独裁」20年の政治的刻印：朝日ジャー
ナル 2月7日号 89～94頁

高橋景一：アキノ新政権樹立直後の2月28日～3月5日〈マニラ性風俗 PART-1〉：写真時代
6月号 68～74頁

高橋 純：真の「革命の指導者」になり得ぬアキノ女史〈現地で見たフィリピン激動の4ヶ月・上〉
：世界週報 3月25日号 12～17頁

：陰の主役——教会と国軍〈現地で見たフィリピン激動の4ヶ月・中〉：世界週報 4月
1日号 24～27頁

：神に味方された無血革命のドラマ〈現地で見たフィリピン激動の4ヶ月・下〉：世界週報
4月8日号 30～33頁

：分袋し揺れ動く国民感情——民族意識と打算がからむ比基地問題：世界週報 4月29日
—5月6日合併号 28～30頁

高橋正雄：発展途上国の「四悪」——土豪・劣紳・貧官・汚吏：月刊タイムス 5月号 32～35頁

田口三夫：編集方針は終始一貫“反マルコス”——フィリピン報道に見るNYタイムズの迫力：世
界週報 3月25日号 18～22頁

田久保忠衛：日米協調でフィリピン安定を：世界週報 3月11日号 4～5頁

武市英雄：フィリピン大統領選と日本の報道〈月刊新聞批評〉：月刊タイムス 4月号 50～51頁

：アジアのメディア報道から学ぶもの〈月刊新聞批評〉：月刊タイムス 5月号 36～37
頁

竹内正右：テロ下のフィリピン大統領選：中央公論 4月号 グラビア3ページ

：ネグロス島——失業と飢餓：月刊社会党 5月号 5～12頁

竹田令二，渡辺康則：マルコスゲート事件・極秘契約書入手——マルコスが売り急いだ時価600億
円東京神戸の一等地：サンデー毎日 4月13日号 16～19頁

- 竹田令二：対フィリピン円借款事業の全貌ノ：サンデー毎日 4月20日号 16～22頁
- 竹村次男：M J S 日本人学校だより：まぶはい 第113（1月）号 37～40頁
- 竹村泰子：アキノ大統領との会見：世界週報 4月15日号 34～35頁
 ：戦争責任の再認識から〈今月の言葉〉：月刊社会党 5月号 13頁
 ：ブラボーノコリー：社会党労働評論 5月号 8～10頁
- 田嶋フク：パターン難民センターにて〈海外青年協力隊活動シリーズ〉：まぶはい 3月号 4～5頁
- 立木 洋：新植民地主義と日本政府の態度——独裁政権を支える日本のアジア援助：世界政治 4月上旬号 4頁
 ：司法共助を含め問題解明の努力を〈参院外務委3月27日〉：赤旗評論特集版 5月5日号 23～24頁
- 立石 克：マルコス疑惑と中曽根政治〈今月の焦点〉：月刊社会党 5月号 186～187頁
- 田村典子：選挙後のフィリピンを訪ねて〈特集・フィリピン政変と教会〉：アジア通信 5月号 14～15頁
- 多摩 悠：フィリピン選挙に集中した報道特番（マスコミ批評 テレビ）：文化評論 4月号 276～279頁
- 為田英一郎：熱帯の夜、「洪笑」の革命〈現地報告〉：朝日ジャーナル 3月14日号 6～10頁
- 俵孝太郎：平泉発言のウラに記者の暴力〈ニュースの奥を見る34〉：時評 5月号 122頁
- タン、シスター・クリティン：わたしの見たコリー・アキノ：フィリピン通信 第21（4月10・25日）号 3頁
- 筑紫哲也：マルコス文書——千載一遇の機会〈多事多論〉：朝日ジャーナル 4月4日号 3頁
- 知識編集部：マルコス前フィリピン大統領——侍なら恥を知る〈銘語・迷語〉：知識 6月号 46頁
- 中央開発インターナショナル：フィリピン——地方環境衛生パイロット計画〈目で見る簡易水道プロジェクト〉：国際開発ジャーナル 6月号 47～49頁
- 中堂幸政：フィリピン革命“観劇記”：現代思想 4月号
- 朱南植^{チュナムシク}：変わりゆく政治の流れ——フィリピン，そして韓国：統一評論 5月号 18～27頁
- 塚本勝一：フィリピン駐留米軍基地を覆う危機：正論特別増刊 DEFENCE INFORMATION No. 15 4月号 144～149頁
- 辻元清美：フィリピンはもう一度変わると言うな：フィリピン通信 第20（3月10・25日）号 1頁
- 角田良平：マルコス利権で浮上した政治家と商社の実名：政界往来 5月号 36～49頁
- 津田 守：マルベニコスとまで呼ばれた前大統領と巨大商社の腐れ縁：朝日ジャーナル 3月14日号 13～15頁

- ：コリー・アキノ——政治家として未知だが誠実さが魅力：TIMEレビュー 5月20日号 146～149頁
- 津田 守，横山正樹：対フィリピン円借款の構図——マルコスを支えたもの〈共同報告・“援助”を見直す〉：世界 4月号 166～176頁
- 土田 善：フィリピン政変とアメリカ帝国主義〈世界はいま〉：社会主義（社会主義協会） 4月号 112～118頁
- 土場善徳：マスコミが書かなかった“救出ドラマ”陰の部分〈特別企画・快挙！国家を超えた“カメラマン救出”陰の功労者群像〉：新雑誌X 6月号 29～35頁
- 鶴見良行：逃げられない破産国家フィリピンの民衆：朝日ジャーナル 2月28日号 105～107頁
- ディスイズ編集部：モロ民族解放戦線に監禁された日本人カメラマン救出の背景：THIS IS 6月号 74～78頁
- デ・ラ・トーレ，エディシオ（神父）：人民の連帯が前にも増して必要です——民主的民主主義を生み出すために：フィリピン通信 第22（5月10.25日）号 2～8頁
- デ・ラ・トーレ，ロムアルダ：連帯って友だちになることよね：フィリピン通信 第23（6月10日）号 1頁
- 統一評論編集部：フィリピン事態と改憲運動〈統一時評〉：統一評論 5月号 10～11頁
- 殿岡昭郎：前途多難なアキノ新政権——ベトナムの二の舞にならないか：時の課題 5月号 22～30頁
- 鳥越俊太郎：私は群集と共にマラカニヤン宮殿へ突入した！——マルコス王朝最後の日：サンデー毎日 3月16日号 18～21頁
- ：誤報を通して革命を決めた美人キャスター・ジェーン〈独占会見〉：サンデー毎日 3月16日号 22～24頁
- ：コリー大統領ファミリーの日本人妻！：サンデー毎日 3月23日号 16～19頁
- ：亡命者と出国禁止令の出た要人全102人の㊟リストを入手した！：サンデー毎日 3月23日号 19～21頁
- ：レーガン政権を震撼させるマルコス巨額献金情報の破壊力：サンデー毎日 4月6日号 16頁
- 鳥越俊太郎，前田康博，高野 孟：フィリピン問題と韓国〈座談会〉：統一評論 5月号 28～45頁
- 仲 晃：比革命，もうひとりの敗者ソ連：マンスリーインデックス 5月号 111頁
- 中岡 望，石神 力：アキノ新政権下のフィリピン経済——描ききれぬ経済再建の青写真：週刊東洋経済 3月8日号 54～57頁
- 中川 剛：自由の黄色い夢 中央公論 4月号 39～40頁
- 長倉徳生：サクバマンに軍がやってきて威嚇射撃をした：フィリピン通信 第19（2月25日号）

1 頁

：ネグロス島，エスカランテの虐殺——フォト解説：新地平 3月号 4～9頁

：ネグロスの飢餓はなぜ〈インタビュー〉：Ipil-ipil 第14（5月1日）号 8～9頁

：つくられた飢餓——フィリピン・ネグロス島からの報告：新地平 4月号 4～9頁

長倉洋海：これが暴行現場だ!! 〈グラビア〉：創 4月号 24～25頁

：ネグロスからの報告——大統領選中の“非常事態の島”を行く：Asia Link 春号 1～

5 頁

：マニラ・モザイク 〈フォトルポ・フィリピンの人々①〉：朝日ジャーナル 4月18日号
102～107頁

：スラム・トンド 〈フォトルポ・フィリピンの人々②〉：朝日ジャーナル 4月25日号
42～45頁

：ネグロス・サルページ 〈フォトルポ・フィリピンの人々③〉：朝日ジャーナル 5月2
日号 42～45頁

：民衆は素手で独裁者を倒した：世界から 夏（6月5日）号 16～21頁

永積 昭：ベンゲット道路の虚像と実像 〈連載・東南アジア史の散歩・第23回〉：国際ビジネス情
報ジェットロセンサー 2月号 98～101頁

中村敦夫：人々はコロナに好意はもっているが信じてはいない——メトロ・マニラでの印象：
フィリピン通信 第18（2月10日）号 1頁

中山 勝：フィリピンの革命：労働リーダー 4月号 44～45頁

中山 悟：アキノ政権下のマニラ市民事情（投稿）：月刊新自由クラブ 5月号 48～50頁

名越健郎：ゴルバチョフ外交の誤算——フィリピン政変で大失態を演じたソ連：世界週報 3月18
日号 47～50頁

奈佐忠彦：対外援助はすべて贈与に 〈行政への一万字提言〉：月刊官界 6月号 178～185頁

新飯田宏：フィリピン経済再生——私の処方箋：週刊東洋経済 臨時増刊（5月16日）号 129～
133頁

西川 潤：フィリピン'85——日本の「援助」を問う：世界：2月号 171～182頁

：フィリピン'85——近代化と開発の現実：世界 3月号 172～191頁

西田令一：憶測飛び交うなかで真実を探る——フィリピン“政変”を追う・マニラからの現地報告
：新聞研究 4月号 46～49頁

：フィリピン——倉庫の禁書がベストセラー（実録イメルダ・マルコス）〈ほんの地球儀〉

：This is 6月号 119頁

西原 正：マルコス疑惑——報道の伏線：諸君ノ 6月号 106～113頁

西宮 弘：フィリピンにおける市民革命の教えるもの：月刊状況と主体 5月号 1～4頁

日本テレビ：銃声の中の神々——フィリピンからの報告（テレビ・ドキュメンタリー台本／制作・

- 日本テレビ)：放送レポート 5月号 9～15頁
- ニューズウィーク編集部：人民の力が戦車に勝った——アキノ新大統領はフィリピンに真の民主主義繁栄をもたらすか：ニューズウィーク日本版 3月13日号 6～11頁
- ：「ただの主婦」から大統領へ、コリー大躍進の軌跡——「不屈の精神」で頂点を極めた一女性のドキュメント：ニューズウィーク日本版 3月13日号 13～17頁
- ：栄華と権勢にひたりきった女帝イメルダの素顔——庶民の富を吸い上げ、結局は石もて追われた女の人生：ニューズウィーク日本版 3月27日号 10～15頁
- ：ビデオが明かすマルコス家のおごり——アラブの大金持ちとダンスに興じるイメルダたち：ニューズウィーク日本版 3月27日号 15頁
- ：どうなるマルコスの「隠し財産」——100億ドルにのぼる海外流出資産をアキノ新政権は回収できるか：ニューズウィーク日本版 3月13日号 17～19頁
- ：対比援助に及び腰の米国政府——“人民の革命”も金次第、つるアキノ政権のいらだち：ニューズウィーク日本版 5月29日号 30～31頁
- 沼田由美：マルコス政権の崩壊：海外事情 4月号 100～109頁
- 野沢勝美：威信低下で延命策に頼る——最大の試練に立つマルコス政権〈特集・フィリピンプログラム〉：世界週報 2月25日号 10～13頁
- ：前途厳しい経済再建——債務返済の緩和をめざす：エコノミスト 3月18日号 22～25頁
- ：マルコスの“マイナス資産”を相続したアキノの悲劇：big A 5月号 24～29頁
- 野々山真輝帆：ニカラグア「解放の神学」：中央公論 3月号 156～163頁
- 野間映児：アジアの反共体制固めに乗り出すフジテレビ（フィリピン報道に関して）〈TV舞台裏〉：創 4月号 108～109頁
- 能見五郎：フィリピンの阪神現象〈新聞記事〉：サンデー毎日 3月16日号 52頁
- 野村 長：東洋テクニカのマルコス疑惑の真相：株主手帳 5月号 54～55頁
- 野村秋介：獄中十八年の精魂が放つベンの実弾ノ——石川君救出劇と日本大使館の小役人根性：新雑誌X 5月号 68～69頁
- 野村秋介・黒澤 明・ヒロ、山口（裕康）：救出作戦9回を投げ戦い抜いた男たちのドラマ——現地座談会〈特別企画／快拳ノ国家を超えた“カメラマン救出”影の功労者群像〉：新雑誌X 6月号 12～22頁
- 野呂令子：ナスブの朝市・フィリピン〈海外・話のカプセル〉：国際協力 4月号 20～21頁
- ハウティスタ、J V：危機のただ中で激化する闘い——フィリピン情勢の概要：アジアの声 第45（1月1日）号 10～24頁
- 萩原 遼：アキノ政権とフィリピン労働者：労働運動 4月号 224～229頁
- ：現地でもみたフィリピン情勢とその後：前衛 4月号 18～21頁

- 萩原 卓：フィリピンで考えたこと：統一評論 5月号 46～51頁
- 白紫 虚：アキノ政権を祝う——弥勒は微笑っている：ナム 5月号 58～59頁
- 橋本 伸：マルコス疑惑——自民党が真相究明にフタをするのは？：あすの農村 第139（6月）号 56～59頁
- 橋本 勝：フィリピンの巻〈マサルのクルクルワールド〉：創 4月号 138～139頁
：ハワイの巻〈マサルのクルクルワールド〉：創5月号 118～119頁
- バックウォルド, アート：宮殿に残された靴のナゾを解く：朝日ジャーナル 5月2日号 83頁
- はっちょうかずを：アキノ夫人らの「黄色の革命」——フィリピン国民の政治的自由は回復したが
：社会問題月報 4月号 8～13, 20頁
：東京サミットで問われる「マルベニコス」商法——日本企業国際化の帝国主義
的性格：社会主義 5月号 13～18頁
- パディリャ, アレクス：われわれの敵はアメリカ——“正義・民主々義・自由のための民族連合”
指導者アレクス, パディリャ氏語る（スペイン共産党機関『ムンド・オブレロ』10月24/30号）
：世界政治 1月10日号 34～35頁
- パク, ポール：フィリピン政変の衝撃〈ブルーハウスの瓦解①〉：統一評論 6月号 76～83頁
- 花井浩司：フィリピン向け借款の疑惑〈今日の焦点〉：月刊社会党 5月3日号 192～193頁
- 浜谷浩司：アキノ政権の問題と人民の力：前衛 5月号 26～29頁
- 林 理介：複雑にからみあう金満家の家族関係——コラソン＝ラウレル組も親米・半封建の保守派
か!? 〈緊急レポート比大統領選挙の奥にひそむ暗流〉：国際開発ジャーナル 2月号 18～27
頁
：アキノ政権が誕生？マルコス見限ったアメリカ——大混乱必至・マルコス4選以後の
フィリピン：国際開発ジャーナル 3月号 6～18頁
：アキノ政権は生き残れるか：国際開発ジャーナル 5月号 14～27頁
- 早瀬晋三：ダバオ・フロンティアにおけるバゴボ族の社会変容：アジア・アフリカ言語文化研究
第31（3月31日）号 96～119頁
：植民統治下のフィリピンにおけるマニラ麻産業：東南アジア——歴史と文化——第15
（5月）号 63～89頁
- バヤン：なぜボイコットか：フィリピン通信 第17（1月25日）号 2～3頁
- B A Y A N（新民族同盟）情宣部：86年2月, 何が見えてきたか：世界から 夏（6月5日）号
22～30頁
- 原 伊市：アメリカはアジアから手を引くべきである——米・日と朝鮮・フィリピン問題：統一評
論 5月号 52～55頁
- 原 行雄：“財テク”ブームを煽るマッチポンプ：文化評論 5月号 224～227頁
：マスコミ批評——“マルコス疑惑”解明の深さと浅さ：文化評論 6月号 252～255頁

ハリス, ルーク：連帯のもとに——自由をもたらすきずな：アジアの声 第45（1月1日）号 25～36頁

日浦賢一：フィリピンの教育事情——教師教育の概要と実態：Filipica 第21（4月）号 36～43頁

東 守之：テレビが動かした革命——フィリピン政変を追う：新聞研究 4月号 57～59頁

big A 編集部：比ゲリラに誘拐のカメラマン“民間外交”で無事救出：big A 6月号 44～45頁

：当たった“フィリピン情報”，外れた“クレムリン情報”：big A 6月号 134頁

日名子暁：じゃぱゆきさんからみたフィリピン大統領選挙：創 4月号 130～137頁

平岡正明：夜のマニラ・ローズ——大山勝美氏『映像と言語のすれ違い』に反論する：放送批評 6月号

46～58頁

平賀毅一：スキャンダル漁りから経済協力へ〈新生フィリピンからの第一報〉：国際開発ジャーナル 5月号 5～13頁

：根強いアキノ政権短命論〈新生フィリピンからの第一報〉：国際開発ジャーナル 6月号 70～75頁

平早 勉：波打つ黄旗とマリア像：bigA 5月号 6～9頁

平沼正弘：マニラのピンボー人：写真時代 5月号 27～30頁

広木道子：フィリピンの労働運動と女性たち：歴史評論 第431（3月）号 89～98頁

弘田しづえ：ミンダナオ・レポート——郷土防衛戦もそのまま：フィリピン通信 第22（5月10・25日）号 9～10頁

フィリピン解放闘争を支援する首都圏の会：フィリピン人民との連帯を今こそ強化しよう——声明：世界から 4月号 3頁

フィリピンカトリック司教協議会：フィリピンカトリック司教協議会の大統領選挙に関する声明（'86, 2, 13）：アジアの声 4月号 5～7頁

フィリピンキリスト教協議会：大統領選挙に関する声明〈特集・フィリピン政変と教会〉アジア通信 5月号 8～10頁

フィリピン教会協議会：フィリピン教会協議会（プロテスタント）の大統領選挙に関する声明（'86, 2, 14）：アジアの声 4月号 8～9頁

フィリピン合同教会人権委員会：民衆こそ歴史をつくり出す：福音と世界 4月号 48～49頁

フィリピン情報センター・ナゴヤ：フィリピン・バナナ反農薬キャンペーン(2)——バナナ農園労働者との連帯を求めて：NCPCニュース 第14（2月5日）号 2～10頁

：フィリピン・バナナ反農薬キャンペーン(3)——バナナ農園労働者との連帯を求めて：NCPCニュース 第15（4月20日）号 2～5頁

：フィリピン・バナナ反農薬キャンペーン(4)——バナナ農園労働者との連帯を求めて：NCPCニュース 第16（6月20日）号 2～5頁

- Philippine Daily Inquirer：閣僚に見るアキノ新政権の性格：フィリピン通信 第20（3月10・25日）号 2～3頁
- フィリピン闘争国際連帯会議：ミンダナオからのメッセージ——「フィリピン闘争国際連帯会議」声明：アジアの声 第45（1月1日）号 37～40頁
- フィリピンに学ぶ会：マーガレット・グローアさん〈インタビュー・フィリピンに生きる①〉：Filipica 第21（4月）号 28～35頁
- フォーカス編集部：マルコス「リベート疑惑」の現場——「東陽通商」自社パンフレットの「動かぬ証拠」：フォーカス 4月4日号 6～7頁
 ：昔のことは忘れない——“三和銀行事件”伊藤素子と“マニラの元愛人”の近況：フォーカス 4月4日号 24～26頁
- フォーティチ, アントニオ・Y：真の問題は不正である（インタビュー）：フィリピン通信 第17（1月25日）号 4～5頁
- 深田祐介：マルコス文書の中の“炎熱商人”：文藝春秋 5月号 296～305頁
- 福田紀子：飢餓の島でマルコス選挙を見た福田紀子さん〈A Jインタビュー〉：朝日ジャーナル 2月28日号 108～109頁
 ：ネグロスの子供たち：アジア通信 4月号 6～7頁
- 藤内弘明：革命後の“困難”助けようと15歳の内助・アキノ大統領の末娘、けなげな来日目的：フライデー 6月6日号 66～67頁
- 藤川泰志：フィリピンの「熱い風」と自分の街を意識すること：世界から 通信 1月号 6頁
- 藤原新一郎：問われるアキノ大統領の力量——英『エコノミスト』（'86, 3, 1号）——〈雑誌から・インタナショナル・サーベイ〉：エコノミスト 3月25日号 43頁
- ブスカイノ・ベルナベ：人民に依拠し前進する：世界から 夏（6月5日）号 38～45頁
- 布施 広：マルコス資産文書の公表で米国が隠した“核心”はレーガン?!：サンデー毎日 4月13日号 20頁
- ふで坂秀世：マルコス疑惑と日比構造腐敗——五つの罪を問う：前衛 6月号 84～94頁
- フライデー編集部：マルコスに食いついて丸紅「完勝」の20年——黒幕ベネディクト同席して社長拝謁の図：フライデー 3月28日号 24～25頁
 ：アキノ新政権にのしかかる「重い現実」——革命後さらにふえた強盗・レイプ・殺人の現場：フライデー 3月28日号 30～31頁
- 古田 保：緑のダバオ——中国系と日系のフィリピン人：Filipica 第21（4月）号 68～69頁
- 古山高麗雄：一旅行者の「マルコス王朝崩壊」日記：新潮45 4月号 172～189頁
- 古川恒雄：バギオの戦没者慰霊碑の大改修進む：まぶはい 第113（1月）号 27頁
- 米議会調査局：在比米軍基地とその代替案（上）——米議会調査局報告書：国防 4月号 98～102頁

：在比米軍基地とその代替案（下）——米議会調査報告書：国防 5月号 99～109
頁

米上院情報特別委員会：フィリピン情勢報告書・11月1日（米上院情報特別委員会発行英文テキスト）：世界政治 12月10日号 13～27頁

ベルティネット，ガブリエル：マルコス登場から20年目のフィリピン（イタリア共産党機関紙ウニタ・'85，11，20）：世界政治：2月10日号 32～39頁

ベルトラン，クリスピン：“私は姿を現わし，労働運動に戻るつもりだ”（インタビュー）：フィリピン通信 第23（6月10日）号 2～4頁

星野忠彦：“夢の跡”マラカニアン宮殿——マルコス王朝崩壊〈グラビア〉：アサヒグラフ 3月14日号 20～23頁

阪正康：イメルダ・マルコスの禁じられた伝記：新潮45 5月号 93～頁

ホセ，シオニール：マルコスを潤した新植民主義——ASEANからの告発・傲慢なり日本人：文藝春秋 3月号 68～69頁

ホラド，エルサ・P：フィリピン新政権と日比関係の将来：世界 6月号 209～213頁

本多勝一：アキノ判決と日本人と幻舟——貧困なる精神4：ルポルタージュ 4月号 63頁
：郷ひろみとフィリピン：噂の真相 5月号 114頁

本間眞由美：コムクドリを追って——渡り鳥レポート：Filipica 第21（4月）号 48～59頁

前島宗甫：フィリピン状況と日本〈特集・フィリピン政変と教会〉：アジア通信 6～7頁

前田哲男：日米安保から西太平洋同盟へ：朝日ジャーナル 3月14日号 10～13頁

牧内正男：東南アジアに新風——アキノ政権と米，日，その他——：外交時報 3月号 2～5頁

正森成二：マルコス疑惑と日本政府——日本共産党正森成二衆議院議員に聞く：青年運動 6月号 68～75頁

松本和子：ラウレル副大統領に聞く・日本との関係はますます親密になる——フィリピン最新情報：週刊東洋経済 4月26日号 40～44頁

松本健一：民主的ということ：正論 5月号 112頁

松本二郎・那須省一：フィリピンの劇場型クーデターを見守って——前途多難のアキノ新政権：コリア評論 5月1日号 22～31頁

マナラン，エド：ソラーズとシソン——比米関係をめぐる2つの見方：フィリピン通信 第21（4月10・25日）号 4頁

マーレー [正しくは，マライ——編注]，アルマンド・J：記憶は余りにも短くて（MALAYA '86，3，1付）：フィリピン通信 第20（3月10・25日）号 3～4頁

マライ，アルマンド・J：アメかむちか：フィリピン通信 第22（5月10・25日）号 8～9頁

マラヤ編集部：2月7日フィリピン大統領選挙：Laban 第21（1月28日）号 3～5頁

円山 茜：体系性の獲得か，それからの“自由か”：マルクス・レーニン主義をかかげて 第15（3

- 月23日)号 20~42頁
- 丸山照雄：フィリピン解放闘争現地報告——血の通いあう連帯を(上)：破防法研究 第53(2月)号 146~153頁
- ：フィリピンの激動が始まった——血の通いあう連帯を(下)：破防法研究 第54(4月)号 110~115頁
- 丸山 実：快拳ノ国家を超えた“カメラマン救出”陰の功労者群像——もう一人の主役・黒澤 明氏の一年二カ月：新雑誌X 6月号 23~28頁
- マンスリー・インデックス編集部：キーワード・インデックスを読むことは変化を読むことである：マンスリー・インデックス 5月号 148頁
- 三上正良：ピープルズ・パワーをどうみるか〈マスコミ批評——週刊誌〉：文化評論 5月号 232~235頁
- 美並二郎：アキノ新政権誕生の経済的背景：経済 4月号 115~123頁
- ：ASEANにみる日本企業の実態——アメリカの進出とも関連させて〈日本独占資本の対外進出〉：経済 5月号 34~56頁
- 宮宅二郎：フィリピン共産党のゲリラ組織“新人民軍”の実力と“解放の神学”の危険度：bigA 6月号 46~48頁
- 宮崎清明：フィリピン・新民族同盟(バヤン)の一般行動綱領〈“新生フィリピン”と進歩・民主勢力——注目される新民族同盟〉：世界政治 3月下旬号 45~52頁
- 宮崎正弘：実力者シュルツのマルコス転倒劇でソデにされたレーガンの威信：政界往来 5月号 50~64頁
- 宮原 豊：軍事権益確保が至上命題、米国の対比援助の背景〈特集 フィリピン・プロブレム〉：世界週報 2月25日号 20頁
- 宮本 勝：ハヌノオ・マンヤン族の一生：季刊民族学 第35(1月20日)号 66~75頁
- ：ミンドロ島日記〈フィールド・ノートから17〉：月刊みんぱく 5月号 15~17頁
- 水島 毅：アキノ政権に潜りこんだフィリピン共産党〈真実はこうだ——共産党極秘情報〉：ゼンボウ, 5月号 14~15頁
- 民族民主戦線(NDF)声明：米国に支援されたマルコス政権に対する人民の勝利——この成果をさらに押し進めるために人民の闘いはつづく!：世界から通信 3月号 1~2頁
- 民話の会：おばけ四題——ブワヤ、カイバアン、バンガンゴット、バルバル：Filipica 第21(4月)号 44~47頁
- 村井吉敬：“要請主義”をめぐって——“援助”のしくみと実態〈共同報告“援助”を見直す・第1回〉：世界 4月号 152~165頁
- 村田博文：狙われる丸紅——始まったアキノ・フィリピンの陣取り合戦〈財界レポート〉：財界 4月1日号 36~39頁

- ：マルコス疑惑の丸紅にランクダウンの追い討ち？〈財界レポート〉：財界 4月15日号
20～25頁
- 山伏哲郎：円借款疑惑隠しの奥にあるもの：マスコミ市民 第213（5月）号 48～53頁
- メンドーサ、ジミー：米戦略の要石を脅かす基地労働者：世界から 夏（6月5日）号 31～35頁
- 森 彪：マルコスが伝えないもう一つのフィリピン：月刊総評 4月号 48～52頁
- 諸富隆夫・谷本秀喜・市川暁美：政権交代——私の体験記：まぶはい 4月号 2～6頁
- 矢田由貴江：旅行の行程の報告：マルクス；レーニン主義をかかげて 第15（3月）号 42～52頁
- 梁井新一：フィリピンの政権交代と最近のアジア情勢：世界経済評論 6月号 32～42頁
- 柳田邦男：テレビで内幕が見える時代〈連載・事実の素顔〉：週刊文春 3月13日号 50～51頁
- 山川暁夫：アキノ政権と日比経済関係：月刊タイムス 4月号 12～19頁
- 山口敏夫：騒乱の国に使用して〈マルコス王朝自壊の構図2〉：文藝春秋 4月号
：廃帝マルコスかく語りき：文藝春秋 5月号 278～295頁
：検証・アキノ新大統領の政治手腕〈特集・どうなるフィリピンの“明日”〉：bigA 5
月号 38～39頁
- 山崎広二、本多正明：内実はフィリピンと変らぬ韓国と、「表面ばかり強調する視点はマイナスを
もたらすという論調の意味」：統一評論 4月号 74～77頁
- 山崎太喜男：フィリピン政変と米ソ——激動・太平洋の背後にある角逐——：自由 5月号 67～
72頁
- 山田経三：「フィリピン民衆との国際連帯会議」——ダバオで1985年9月16～21日：アジアの声
第45（1月1日）号 3～5頁
：軍隊に守られる川崎製鉄：アジアの声 第45（1月1日）号 42～44頁
- 山田禎介：私は亡命しない——マルコス実弟の告白〈独占会見〉：サンデー毎日 3月30日号 16
～19頁
- 山平重樹：石川重弘カメラマン救出作戦の真実〈現地特別レポート〉：創 5月号 174～187頁
：フィリピン石川重弘カメラマン救出劇にみる「外務省」,「日本大使館」の『無能さ』：
ゼンボウ 5月号 24～25頁
- 山本清貴：マルコスを倒したTV海賊版：文藝春秋 6月号 220～236頁
- 遊佐雄彦：'86情報化社業の内側をのぞく匿名座談会, 今日の新聞——フィリピン政変劇の衝動と国
内の不気味な発言騒動：新雑誌X 5月号 116～118頁
- 横山正樹：対比円借款と「マルコス文書」：世界 6月号 205～208頁
- 吉川洋子：アメリカのフィリピン危機：改革者 6月号 54～71頁
- 吉田勝美：2. 7フィリピン繰り上げ大統領選〈現地点描〉：国際開発ジャーナル 3月号 76頁
- 吉田よし子：チボリの人々①：Filipica 第21（4月）号 60～64頁
- ロヤンドヤン、オミ：私たちは闘いにおいて共通の立場をもっている：フィリピン通信 第16（1

月10日)号 2～3頁

若宮 清：暴動必至！国際浪人若宮清のフィリピン傲視報告：週刊大衆 3月3日号 44～45頁

： “マニラの英雄” 若宮清の現地レポート——ニイノの墓に参ってくれたのがアキノ大統領の第一声だった：週刊サンケイ 3月20日号 26～27頁

： 私は見た！伊藤忠らの談合を暴露するマル秘文書：週刊サンケイ 4月10日号 28～34頁

： 丸紅追放が故アキノ氏の遺志だった：週刊サンケイ 4月17日号 179～181頁

： 頂点を極めた女コラソン・アキノ “有為天変” のありのまま：週刊現代 3月22日号

： フィリピン行政規律委員会顧問に任命された若宮清が円借款疑惑を徹底追求！：週刊サンケイ 4月24日号 191～193頁

渡部愛理：私も井戸ばた会：井戸ばたニュース 第18(2月2日)号 8頁

ワダ元恵：マニラのピープル・パワー：Filipica 4月21日号 4～11頁

〈追捕〉

荒巻 裕：死と飢えと怒りと——子供が危ない！：毎日グラフ 2月16日号 74～79頁

池上幹徳：ネグロス島をおおう飢餓と人民の闘い：アジア・アフリカ連帯 2月15日 2～4頁

井上礼子：フィリピン連帯闘争の強化を：労働情報 3月1日号 17～19頁

小川邦雄：最後まで非暴力の大衆運動がつかぬかれたのはアキノ派がテレビを押えたからだ〈特集・フィリピン〉：調査情報 4月号 28～31頁

小野木祥之：メーデーで主流派として登場したKMU：労働情報 6月1日号 20～21頁

ケサダ, デッサ：共にたたかう人々と一緒に将来をみたい〈インタビュー〉：季刊福祉労働 6月25日号 4～7頁

ニューズウィーク編集部：マルコス資産の全貌に迫る：ニューズウィーク日本語版 3月20日号 6～11頁

調査情報編集部：高視聴率を上げたフィリピン政変劇報道：調査情報 4月号 67～68頁

鶴見良行：最近のフィリピン情勢：地球号の危機ニュースレター 2月号 12～16頁

長田俊一：KMU 国際連帯行動に参加して：アジア・アフリカ連帯 4・5月号 1～2頁

永野善子：苦境に立つフィリピン糖業——輸出市場の喪失, 砂糖行政に失敗——：農林経済 6月12日号 1～7頁

平凡パンチ編集部：フィリピンが〈火事〉や～っ！：平凡パンチ 2月24日号 38～41頁

早瀬晋三：ミンダナオの大学・研究状況：東南アジア 歴史と文化 第15(5月)号 180～182頁

堀田正彦：フィリピンはどこへゆく：望星 6月号 72～77頁

森澤恵子：フィリピンにおける対外債務累積と国有企業の増大——マルコス政権下における工業化の一断面：季刊経済研究 第4(3月)号 87～106頁